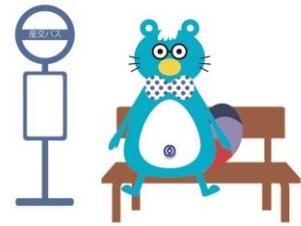


地域公共交通活性化セミナー 2018 in 福岡



© 産太くん



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

産交バス株式会社

平成30年2月20日

本日お話しさせていただくこと

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

参考事例

- ① 人吉・球磨地域
⇒複数市町村との動機付けに向けた取組み
- ② 荒尾・大牟田地域
⇒県間行政・事業者との公共交通取組み
- ③ 天草地域
⇒自治体との取組み
- ④ その他地域（事業）



産交バスについて

(平成29年12月現在)

営業所数 15 営業所

社員数 447 人

車両数 351 両 (高速・貸切車両含む)

乗合系統数 249 系統

乗合走行キロ 約 33,600 キロ (1日平均)

※系統数、走行キロは9月末現在

関係行政機関 41 自治体 (県内の自治体数 45 自治体) ・ 熊本県



九州産交バスグループ営業所一覧

山鹿営業所

玉名営業所

熊本営業所

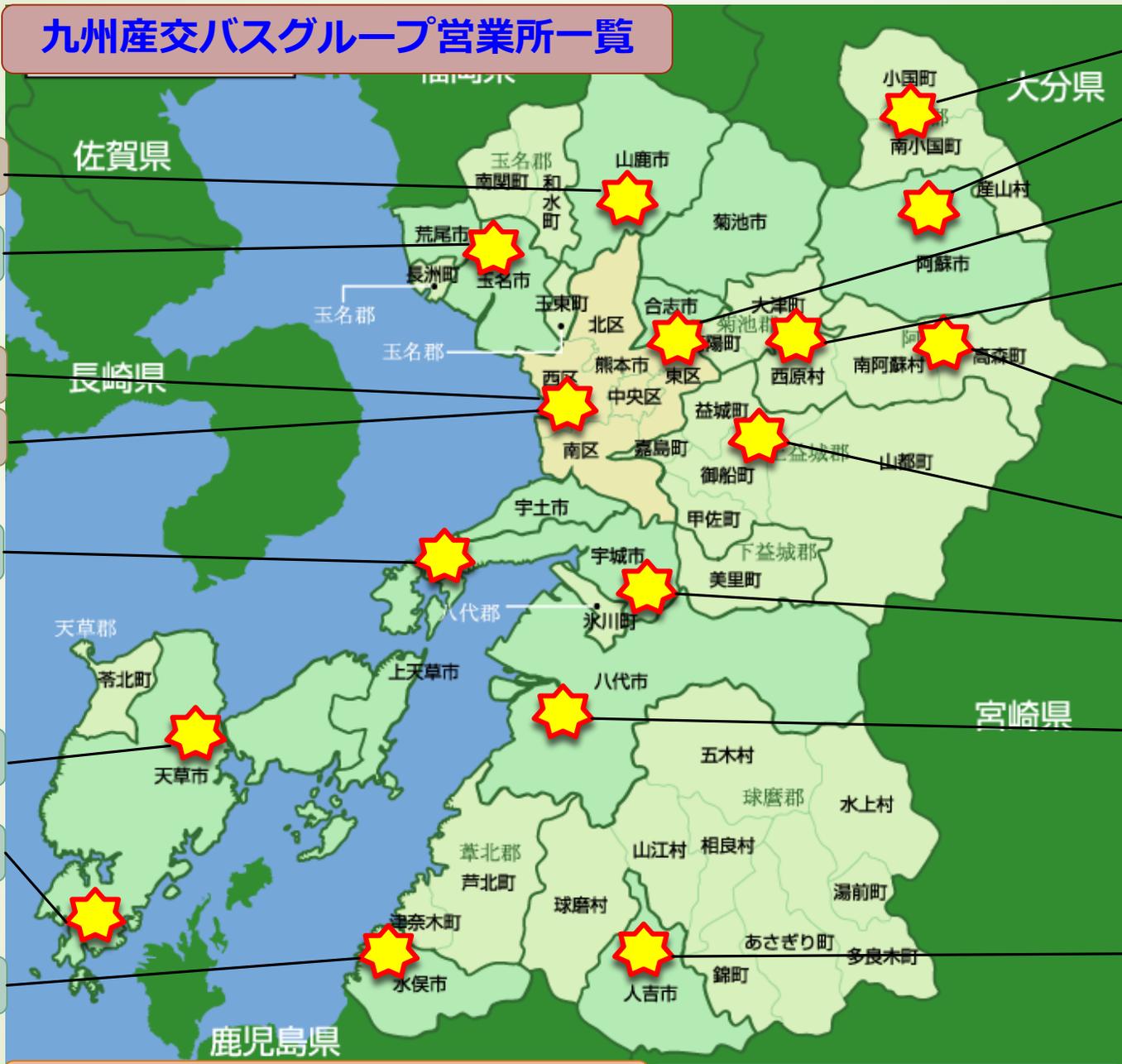
バスグループ本社

三角営業所

天草営業所

牛深営業所

水俣営業所



小国営業所

阿蘇営業所

光の森営業所

大津営業所

高森営業所

木山営業所

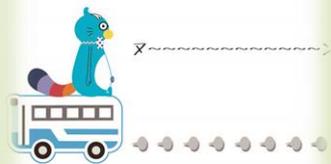
松橋営業所

八代営業所

人吉営業所

赤表示は九州産交バスとの同一営業所

青表示は産交バスのみ営業所





熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

今回の事例をもとにお話しを聞いて頂くに当たって



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

- **県によって路線バスの運行費補助制度が違う！**
事業者自主運行路線と補助路線では自治体との協議が異なるかも？
- **事業者の事業方針も含め行政と対応や協議をしている**

利用者の利便性向上を第一に考えながら効率運行を目指して協議



熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

参考事例

① 人吉・球磨地域

⇒複数市町村との動機付けに向けた取組み

② 荒尾・大牟田地域

⇒県間自治体・事業者との公共交通取組み

③ 天草地域

⇒自治体との公共交通取組み

④ その他地域



人吉・球磨管内幹線路線図



まめバス

関係自治体 1市 4町 5村

人吉市・錦町
あさぎり町
多良木町・湯前町
水上村・相良村
五木村・山江村
球磨村



くまがわ鉄道



じゅぐりっと号

くまがわ鉄道

産交バス路線



一般路線バス

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通の現状（平成24年当時）

当時は地域全体での公共交通の動きはあまり活発ではなかった

- ・自治体単位で乗合タクシー等を地域で導入
それに伴い路線バスを廃止及び空白地帯での新規運行

自治体単位で地域交通計画のみ実施

- ・幹線バスと第三セクター鉄道が並行輸送

路線バスは、輸送人員減少に伴う減便及び時刻変更等改正を実施



☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通の課題

- 平成24年4月から人吉営業所に勤務し沿線自治体担当者と話して感じたこと
 - ・ 各自治体も地域の公共交通を何とかしないといけないとは考えているが、総務や企画系の部署が多く、通常業務が精一杯で手がつけられない。でも指示されてやらないといけないために悩んでいる。しかしどうやればいいのかわからないのが現状。
 - ・ 自治体の財政も厳しく、いかに運行費補助を削減するかが課題？
 - ・ 事業者としても年々利用者が減少していく中でどうやるべきかを考えていた



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通の課題と問題点

人吉・球磨地域公共交通活性化協議会

平成21年度に人吉・球磨地域公共交通総合連携計画策定

- ・ 主にくま川鉄道活性化の施策
- ・ 路線バスについては利用者減少に伴い欠損額が増加、事業者としては減便や廃止で対応しつつも、利用者にとっては使いにくくなるばかり。
改正により利用者が減少していく現状を打破



☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通の課題と問題点



人吉・球磨地域公共交通活性化協議会に委員として参加していること

- ⇒ 協議会では鉄道の車両更新や補修に関する協議が中心、バス路線についての協議がほぼない。
- ⇒ 地域の公共交通を再編するために協議会はあるはず、しかし全モードの再編協議には至っていないのが現状。

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通の課題と問題点

自治体の担当者も事業者も再編を考えてはいるものの、なかなか行動に移すまでには至っていないのが現状。

公共交通活性化協議会は、実際は地域の公共交通を総合連携計画に基づき協議をするため10市町村でいろいろ議論する場ではあるものの、全モードの議論をすることがあまりなかった。



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通活性化に向けた動機づけ（きっかけ）

平成26年 6月

公共交通勉強会参加 【地域を担う公共交通事業のこれからのあり方について】

勉強会で聞いた内容が新たな考え方やヒントになり興味を持った。

このようなセミナーへ可能な限り積極的に参加するようにした。



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

公共交通に関する勉強会で講演内容・事例等を学び、

1つでも多く知識向上になればとの思いで

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通活性化に向けた動機づけ（きっかけ）

公共交通勉強会に参加して

- ・勉強会を通じて行政、事業者の方々とお出会うことができ、『人』のネットワークが構築され、お互いに相談できるいろいろな立場の方々ができる仕組みがある。
- ・他県での自治体先進事例発表において、事業者との協議を実施するにあたり、最初は大変だった？ 苦労した？ と聞くことがある

何で？ 普通に連絡を取り話しているけど？ と疑問を感じた



☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

① 人吉・球磨地域

人吉・球磨地域の公共交通活性化に向けた動機づけ（きっかけ）

公共交通勉強会をヒントにこの地域でも開催できないか？



公共交通活性化協議会の中で交通に関する勉強をするべきとの発言を思い出した！

協議会事務局へ、参加した勉強会の資料をもとに説明提案

平成26年11月 第1回勉強会

交流会も実施し、自治体・事業者等で
初めていろいろな話をする機会が出来た

平成27年3月 第2回勉強会

平成27年7月 協議会にて公共交通網形成計画策定承認



☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

① 人吉・球磨地域

この当時（H26年）の市の交通担当者は、交通は初めてながら熱意をお持ちだったことが感じられた。いろいろな相談を受けたり、本音で話せるようになっていたこと。だからこそ出来ることは協力していきたいと思った。

鉄道会社担当者の方とも、並行路線ではあるが、互いの存在意義を見出すための協議ができるようになってきた。

勉強会実施に向けた取り組みについて

協議会事務局担当者からみたバス事業者についての感想

私は、配属当時から、セミナーや勉強会、説明会にはなるべく参加するようにしており、様々な交通事業者の方の講和を聞く機会があります。

その講師の方々は、共通して、交通の枠を超え「公共交通」に対する意識の高さを感じます。産交バスさんも、人吉球磨地域の自治体への対応を、損得抜きに行っていたいただいているように感じることがあります。

一度、人吉市公共交通会議の後、あまりに自治体の立場からの発言だったので、とある方から「もう少し、事業者の立場で発言されても良いですよ。」と言われたのが印象的でした。

勉強会のご提案についても、人吉球磨地域がおかれている状況をよく把握した上で、まずは関係自治体の機運を盛り上げる必要があると、常日頃から感じておられたのではないかと思います。私の立場からすると、本来は、自治体側で企画しなければいけないところ、渡りに舟とばかりに、お言葉に甘えさせていただいた次第です。

こういった事からも、バス事業者が地域の公共交通をよく理解しており、どのような方向性が好ましいかという在念があることがわかります。そういったご意見を参考に、公共交通政策を総合的に検討していくことで、効率的に施策を立案できるようになりますし、慢性的に不足する自治体職員の時間と労力を補完することができるのではないかと思います。(この内容は平成28年8月時の自治体担当者からのコメントです)



熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

参考事例

① 人吉・球磨地域

⇒複数市町村との動機付けに向けた取組み

② 荒尾・大牟田地域

⇒県間自治体・事業者との公共交通取組み

③ 天草地域

⇒自治体との公共交通取組み

④ その他地域



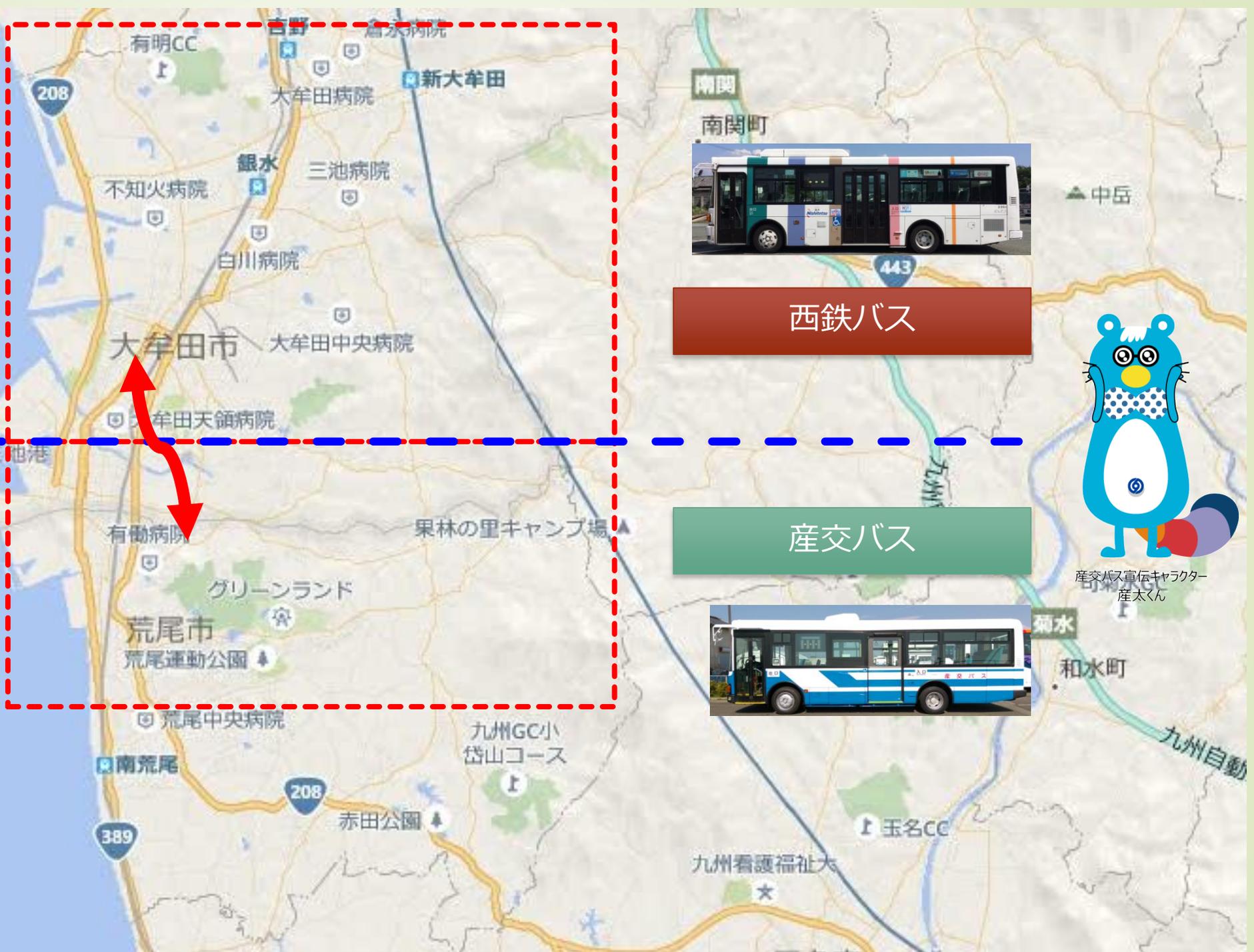
荒尾・大牟田地域

福岡県

大牟田市

荒尾市

熊本県



西鉄バス



産交バス



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

② 荒尾・大牟田地域

世界遺産登録がきっかけで

新たに県間で有明地域公共交通広域連携協議会が発足

しかし参加して思ったことは、

何をどうしたいかが不透明な会議

路線バスで世界遺産？

世界遺産シャトルバス？

生活交通として県間移動？

公共交通活性化？



☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

② 荒尾・大牟田地域

世界遺産登録がきっかけで

新たに県間で有明地域公共交通広域連携協議会が発足

協議会を重ねるごとに自治体・事業者は困惑？

- ・ 県が違うため、両市の路線バスに対する考え方が違う
- ・ 路線バスは両市で運行している2社で運営方法が違う
- ・ 施策はあるものの、それに伴う費用等はどうするか？

県間のしがらみを無くし、利用者の立場で検討できるメリットもあった



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

② 荒尾・大牟田地域

世界遺産登録がきっかけで

新たに県間で有明地域公共交通広域連携協議会が発足

例えば新規路線 1 つにしても県間では考え方が異なる

- ・ 運行費補助制度が違うため、議論の根底部分から説明する必要がある。

そのため、両県・両市・両事業者で形成合意を図るための

時間を要する場面が多々発生！



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

② 荒尾・大牟田地域

世界遺産登録がきっかけで

新たに県間で有明地域公共交通広域連携協議会が発足

バス事業者間で話してみることに！

両社の考え方、やり方はあるものの、協議会後に

『ぶっちやけ話し』 どうあるべきか？ どうしたいか？

とりあえず本音で聞いてみることにした。

これを機会に、連絡を取り合いながら相談できるようになった



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

② 荒尾・大牟田地域

現在は有明地域公共交通広域連携協議会ではなく、別途協議会で実施中

荒尾市・大牟田市合同協議会



荒尾市地域公共交通網形成計画策定中



県間を含む広域部分の調整

大牟田市地域公共交通網形成計画策定中



産交バス宣伝キャラクター
産太くん



熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

参考事例

- ① 人吉・球磨地域
⇒複数市町村との動機付けに向けた取組み
- ② 荒尾・大牟田地域
⇒県間自治体・事業者との公共交通取組み
- ③ 天草地域
⇒自治体との公共交通取組み
- ④ その他地域



天草地域

快速 あまくさ号



のってみゆうかー



苓北町



上天草市

天草市



©産太くん



☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

③ 天草地域（天草市・上天草市）

平成29年4月 天草営業所へ赴任

4月に天草市の課長以下数名来所、ご挨拶にわざわざお越し頂きました。

本来であればこちらから赴任の挨拶に行くところを ちょっと恐縮した

併せて

・天草市地域公共交通網形成計画を策定のご説明も

その中で、特に天草営業所では、乗務員が中長期的にみると不足する深刻な状況下にあるため、路線の統廃合や合理化に対する代替を含めた廃止の提案等が市から要請があれば受け入れる旨を最初に伝えた。

もちろん事業者も地域の足として必要に応じ対応することが前提



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

③ 天草地域（天草市・上天草市）

天草市と取り組んでいること

○ 天草市・コンサル・バス事業者での交通3者定例会を毎月実施

※総合連携計画策定時より定例会は継続実施

- ・ニーズの応じたバス路線の再編
- ・交通モードの活用（バス・エアライン・海上）、効率化、利用促進
- ・交通不便地域対策推進
- ・観光地へのアクセス強化
- ・利用促進策の実施

バスを中心に地域の公共交通全般を協議



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

☆ 熊本県内における公共交通活性化の取り組み ☆

『交通事業者としての行政との関わりについて』

③ 天草地域（天草市・上天草市）

天草市・上天草市と取り組んでいること

・ 上天草市も同時期に地域公共交通網形成計画策定

2市及びそのコンサルと事業者により、広域的な公共交通の整合性を図るため合同協議を実施

- 両市の公共交通網形成計画の確認
- 両市をまたぐ路線バスの再編及び対応について

※ 両市の計画を把握し、広域路線バスの調整を図り、両市の計画に反映するため



産交バス宣伝キャラクター
産太くん



熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

参考事例

① 人吉・球磨地域

⇒複数市町村との動機付けに向けた取組み

② 荒尾・大牟田地域

⇒県間自治体・事業者との公共交通取組み

③ 天草地域

⇒自治体との公共交通取組み

④ その他地域（事業）





熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

熊本県内での今までの取組み例

[水俣市] みなくるバス

→ 自治体の担当者と一緒に協働して路線を計画立案し実施

[八代市]

→ 広域における公共交通全般再編実施

[菊池市]

→ 菊池市街地循環バス、市域路線バス廃止に伴い撤退、その後乗合タクシー導入等

◎ 各市の担当者とも、市の公共交通に関する熱意もあり、道路運送法等必要な知識も向上し、先進地事例としても取り上げられるまでに。



産交バス宣伝キャラクター
産太くん





熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

客貨混載事業



人吉市 ～ 五木村間で平成28年10月から事業開始

民間事業者2社での事業実施に向けた協議

- ・ 熊本では両社ともに初めて実施する事業
- ・ 立案協議時にはスケジュール調整が大変
- ・ 実施内容の会社承認は両社の合意があって初めて成立
- ・ 極力連絡を取り情報共有と実施方法を模索





熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

何をやるにも全ては『人』です

異なる立場を理解し合い、

互いに情報提供を行うことで信頼関係が構築される

地域の公共交通維持には、行政・地域住民

・交通事業者の相互の理解と協力が不可欠



熊本県内における公共交通活性化の取組み



『交通事業者としての行政との関わりについて』

地域の実情に合った公共交通は

全てが 『人』 と 『人』 から成り立つ

これからも 『人』 を活かせる環境づくりを

目指して、地域の公共交通活性化に努めていきます

『人』と『人』が支え 協力し合えるよう

これからも、言いやすい・聞きやすい・接しやすい
と思って頂けるよう努めてまいります。



産交バス宣伝キャラクター
産太くん

ご清聴頂き

ありがとうございました。



産交バス(株)

天草営業所

中村 晋